

2023 年度

事業報告書

社会福祉法人 静岡厚生会

# 総 括

本年度、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行し、法律に基づく規制や自粛要請がなくなりました。3年余り続いたコロナ対策も大きな節目をむかえましたが、施設においては集団感染が発生し、予防対策を継続しながらの1年となりました。一方、規制や予防対策も緩和されたことや重篤化に至らないこともあり、以前のようにスムーズな入退所が行なえるようになり、施設利用の稼働状況も回復傾向にあります。

さて、こうした中で静岡厚生会の事業継続と更なる充実発展をしていくためには新たな目標と活動が必要なため、10年後を見据えた中長期計画の策定を最重要課題として取り組みました。

今回策定に当たっては、現状の課題だけではなく、急激な人口減少と超少子高齢化社会が進む近い将来に向けて、今後発生する問題や、より深刻となる課題への対応についても検討を行いました。特に、これからの介護基準の管理と維持、働きやすい周辺環境の整備、雇用の多様化や流動化に伴う対応、更にはICTや介護ロボット、情報の共有化による効率化及び負担の軽減等、取り組まなくてはならない課題が多岐にわたっています。こうした諸課題を整理し、対応準備への優先順位や最終目標達成までのロードマップとしての戦略書を作成しました。次年度からはこの計画に沿って事業に取り組んでまいります。

また、介護福祉事業での人材の不足は、最も深刻な課題の一つです。既に中長期計画においても最重要課題としています。最近では、経済の回復と少子化の中で有効求人倍率も上昇し、他産業への流出が止まらず、新たな介護の担い手不足と高齢介護従事者の退職により、介護従事者数は減少傾向にあります。また、同じ地域の中で、事業所や施設間での引き合い(ゼロ・サム)状態が続いており、これも課題となっております。こうしたことから、今回、新たに外国人介護技能実習(育成就労)生の活用について、受入体制、職員の意識調査や送出し国、諸費用等について協議し、職員への十分な説明を行い、その準備と監理組合の選定まで行いました。次年度秋頃からは、受入れを予定しています。

本年度も、利用者やご家族、職員はじめ、多くの関係者の皆様方のご理解とご支援によるものと感謝しております。

つきましては、引き続きご支援とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

2024年3月

社会福祉法人 静岡厚生会

## 静岡厚生会 主要事項・取組み概要

### (1) 中長期計画の策定

#### (ア) 長期目標・経営方針及び運営計画の策定

環境に即した介護サービスの提供、安定した経営の確保の2点を基本方針に据え、「高齢者の暮らしを豊かなケアで支え続ける ～この地域とともに～」を10年後の目指す姿に掲げた 厚生苑中長期計画を策定しました。

#### (イ) 策定委員会・作業部会の開催

職員を選抜し、作業部会として5委員会を立ち上げました。計20回にわたった委員会内では意見収集と環境調査を行いました。2024年2月からは法人幹部職員13名による中長期計画策定部会を集中的に開催し、課題や目標、前期・中期・後期の各取組みを戦略書として取り纏めました。

#### (ウ) 内部及び外部環境の調査と分析

6月に職員向け調査（組織風土診断）、11月に地域住民・入所者家族向けのアンケートを実施しました。特に地域に対しては、民児協や連合町内会の定例会に複数回参加し、静岡厚生会の中長期計画への取組みの周知と協力を求めました。

### (2) 介護人材の確保と育成

#### (ア) 外国人技能実習生の雇用促進

関係機関からの説明と県内受入れ施設の視察内容を踏まえ、管理団体の選定と契約を完了しました。職員に対しては、全職員を対象とした説明会を9回に分けて開催し、法人の方針を説明するとともに理解促進に努めました。これにより、次年度の外国人技能実習生のスムーズな受入れのための基盤を整備しました。

#### (イ) 新人職員の定着支援

前年度に引き続き、新人職員育成100日プログラムの実践により新人職員5名の育成と定着を図りました。結果、新人職員とその指導担当職員双方の成長につながりました。

#### (ウ) 育児と家庭の両立支援

当事者職員との意見交換会を定期的に行い、産前産後・子育て期における仕事と子育ての両立について議論を交わし、厚生苑の育児両立に向けた課題を抽出しました。

### (3) 基幹業務の可視化と改善及び DX 推進化

#### (ア) 勤怠管理システム導入 給与事務 BPO 化移行

BPO 化移行については第 1 四半期の検証の結果、保留とし、勤怠管理システムの導入・定着に向けた取り組みを行いました。具体的には、前年度に引き続き顔認証打刻システムを使用しつつ、新たな勤怠管理システムの試行運用を開始、部署ごと順次運用の拡大を図りました。次年度は新システムへの転換、全部署の移行完了を目指します。

#### (イ) 職員 SMS ネットワークシステム確立

職員向けに携帯番号によるメール送信ツールを導入し、活用を図りました。職員全体への一斉送信や特定の職員への発信ができるようになったため、情報発信やアンケートの収集などに幅広い活用ができました。

#### (ウ) デジタル規制改革の情報収集と対応準備

IT 活用補助金等の制度を調査し、IT 導入補助金（通産省）、デジタル補助金（静岡市）、介護 ICT 補助金（静岡県）それぞれ受給に繋がりました。それにより、福祉介護向けグループウェア（勤怠管理、ワークフロー機能、コミュニケーションツールを包括したシステム）導入、2 施設間の遠隔受付システムの構築、業務用 Wi-Fi 環境改善を図りました。今年度実施に至らなかった職員への IT 技術・デジタルスキル向上のための研修は次年度の課題とします。また、医療・介護の連携の情報共有体制整備に関しては、他機関の進捗を確認しつつ、方向性を再検討します。

## 【法人の主要事項】

- 2023年04月
  - ・ 組織改編により新たに事業部を設置
  - ・ 事業進捗状況ヒアリング(－2022年3月)
  - ・ 新人職員100日プログラム開始(-8月まで新卒4名)
  - ・ 郵便料金計器導入
- 2023年05月
  - ・ 執行委員会
  - ・ 社会福祉法人三幸会（三幸の園・山崎園）・西山病院グループ 視察
  - ・ 監事監査
  - ・ 第196回理事会
- 2023年06月
  - ・ 第197回理事会／第70回2023年度定時評議員会／第198回理事会
- 2023年07月
  - ・ 執行委員会
  - ・ 事業進捗状況ヒアリング(－2023年6月)
  - ・ 顧問・相談役経営報告会
  - ・ 技能実習生就業準備顔合わせ会
  - ・ 新旧役員懇談会
  - ・ 第199回理事会
- 2023年08月
  - ・ 法人幹部役職員会議（技能実習生受入れ説明）
  - ・ 第4期くるみん認定
- 2023年09月
  - ・ 第200回理事会
  - ・ 全職員向け 外国人実習生受入説明会（全8回）
- 2023年10月
  - ・ 事業進捗状況ヒアリング(－2023年9月)
- 2023年11月
  - ・ 執行委員会
  - ・ 監事監査
  - ・ 経営分析会議／第201回理事会
  - ・ 施設運営懇談会
- 2023年12月
  - ・ 第202回理事会／第71回2023年度臨時評議員会／第203回理事会
- 2024年01月
  - ・ 執行委員会
  - ・ 静岡市行政指導監査
  - ・ Care TEX 名古屋視察
  - ・ 「テレ窓」配備（清流の郷・新緑の郷）
- 2024年02月
  - ・ 事業進捗状況ヒアリング(－2023年12月)
  - ・ 中長期計画策定部会（全5回）
  - ・ 令和6年能登半島地震 被災地災害派遣（介護職員3名 計18日）
  - ・ 新緑の郷 正面自動ドアIoT化 完了
- 2024年03月
  - ・ 執行委員会／拡大執行委員会
  - ・ 第204回理事会
  - ・ 2024年度新卒採用職員父兄との面談及び業務内容と施設説明見学
  - ・ 2拠点（清流の郷・新緑の郷）間の日直業務一元的運用 開始

## 清流の郷 事業取組み概要

施設入所〔特別養護老人ホーム〕 【目標：実績】年間利用者 42,822名：42,763名／稼働率 97.50%：97.37%

通所介護〔デイサービスセンター〕 【目標：実績】年間利用者 7,733名：7,568名／稼働率 71.50%：69.98%

居宅介護支援・訪問介護

〔ケアマネジメントサービス〕 【目標】年間利用者 2,880名〈予防 1,104件・要介護 1,776件〉

【実績】年間利用者 2,677名〈予防 817件・要介護 1,860件〉

〔ホームヘルプサービス〕 【目標】年間利用者 5,920名〈予防 1,531件・要介護 4,389件〉

【実績】年間利用者 5,994名〈予防 1,490件・要介護 4,504件〉

### (1) アフターコロナを見据えた「日常」の回復と再構築

#### (ア) 日常化にむけての活動の再開及び内部点検と評価

2023年6月から面会を再開し、2024年1月からは生活フロアで面会ができるよう制限を緩和しました。野外活動やレクリエーションを再開し、入所者と職員が共に楽しめる時間を増やしました。入所者や家族の視点に立ったサービスの提供を行うため、4月に研修を実施し、9月にサービスの自己評価を実施しました。業務の省力化を図るため、2024年1月に見守りシステムの導入を開始しました。

#### (イ) 社会的感染対策の緩和と施設内対策継続の両立

感染状況を見極めながら、徐々に感染対策の緩和を行いました。9月、2月、3月に新型コロナウイルスの発生が見られましたが、感染症対策マニュアルを見直し、発生時のゾーニングやケア方法を効果的で負担の少ない方法へ変更し対応しました。

#### (ウ) 地域及び利用者家族の意見参集と事業への反映

2023年10月に家族向けアンケートを実施しました。11月には新緑の郷と合同で、入所者家族、安西・番町地区自治会、民児協、地区社協の代表の方を招いて施設懇談会を開催し、コロナ禍の施設の様子を写真や動画で紹介し、今後の施設運営について意見交換を行いました。いただいた意見をもとに、2024年1月から生活フロアでの面会を再開しました。

### (2) 新基準による非常時の対応

#### (ア) BCP計画の策定

災害時に事業の継続や利用者及び職員を守るため、各事業所のBCP計画の策定を行いました。

#### (イ) 想定訓練の実施

策定したBCP計画に基づいて、11月に特別養護老人ホームで防災訓練と合同で、居宅介護支援事業所では安否確認優先順位表に基づいた机上のBCP訓練を実施しました。

## 主たる活動報告一覧表（清流の郷）

月	実施事項	実施日
4月	新人職員研修	3日(月)～
	運営会議(実績概況、動画研修、夜間オンコール、書類破棄、新型コロナ関連 他)	14日(金)
5月	運営会議(実績概況、事業計画、有給残日数、新型コロナワクチン関連 他)	19日(金)
	監事監査(決算監査)	23日(火)
6月	英和女学院学生訪問	10日(土)
	静岡ホーム園児来苑	15日(木)
	運営会議(実績概況、職員ワクチン接種、理事会/評議員会報告、新型コロナ関連 他)	16日(金)
	入所者ワクチン接種	21日～29日
	職員健康診断	6月～12月
7月	運営会議(実績概況、執行委員会報告、新型コロナ関連 他)	14日(金)
	流しそうめん(3Fするが・4Fあおい)	20日(木)
	安倍川花火大会(各フロア)	22日(土)
	静岡女子高1年生実習	26日～8/1
8月	静岡福祉大学社会福祉士養成課程実習受入	16日～9/15
	運営会議(実績概況、実習生の対応、新型コロナ関連 他)	18日(金)
	静岡福祉大学介護福祉士養成課程実習受入	21日～9/22
	夏祭り(各フロア)	23日～31日
	流しそうめん(2Fするが・3Fあおい)	31日(木)
9月	静岡県福祉指導課インターシップ施設見学	1日(金)
	敬老週間(各フロア)	11日～22日
	運営会議(実績概況、サービス自己評価、水神祭、新型コロナ関連 他)	15日(金)
	水神祭	23日(土)
10月	運営会議(実績概況、防災訓練、新型コロナ関連 他)	13日(金)
	入所者健康診断	19日・26日
	入所者インフルエンザワクチン接種	26日(木)
11月	英和女学院学生訪問	4日(木)
	入所者インフルエンザワクチン接種	8日(木)
	監事監査	16日(木)
	運営会議(実績概況、冬季賞与、施設懇談会、防災訓練、新型コロナ関連 他)	17日(金)
	消防設備点検・防災訓練	24日(金)
	入所者コロナワクチン接種	29日(水)
	施設懇談会	30日(木)
12月	柳町防災訓練	3日(日)
	入所者コロナワクチン接種	6日・13日
	運営会議(実績概況、施設懇談会報告、新型コロナ関連 他)	15日(金)
1月	新年訓示	4日(木)
	運営会議(実績概況、フロア面会、新型コロナ関連 他)	12日(金)
	各フロアでの面会開始	22日(月)
	静岡市指導監査・運営指導	23日(火)
	見守りカメラ取付工事・取り扱い説明会	24日(水)
	福祉機器展示会視察：名古屋吹上ホール	25日・26日
2月	静岡福祉大学社会福祉士養成課程実習受入	19日～29日
3月	職員腰痛検査	13日18日22日
	運営会議(実績概況、報告・検討事項、新型コロナ関連 他)	15日(金)
	福祉用品研修会参加(グランシップ)	27日(水)

# 清流の郷 施設運営報告

## 1. 特別養護老人ホーム 厚生苑 清流の郷

### ア. 運営概要

新型コロナウイルスが5月に感染症5類に移行し、徐々に感染対策の緩和を行いました。面会を6月から再開させ、感染対策マニュアルおよび実施中の感染対策を見直しました。施設内での感染は9月、2月、3月にありましたが、発生時のケア方法を負担の少ない方法に変更しながらも効果的な対策を実施した結果、感染した職員および入所者も軽症で終息することができました。感染状況を見極めながら、中止していた野外活動やレクリエーション、季節行事を再開し、入所者と職員が共に楽しめる時間を増やしました。

利用者や家族の立場に立ったサービスを提供するため、4月に研修を実施し、9月にサービスの自己評価を行いました。10月には家族向けアンケートを実施し、11月には新緑の郷と合同で、入所者家族、安西・番町地区の自治会、民児協、地区社協の代表者を招いて施設懇談会を開催しました。コロナ禍の施設の様子を写真や動画で紹介し、今後の施設運営について意見交換を行いました。いただいた意見をもとに1月から生活フロアでの面会を再開し、普段の生活の様子を以前より詳しく知っていただけるようになりました。

2023年度の退所者は40名で、今年度も多くの方を施設で看取りました。介護職員が看取り介護の振り返りを行い、毎日の声掛け、身体を清潔に保つこと、好きなものを食べること、家族との時間を作ることの大切さを共有し、今後の業務に活かせるように取り組んでいます。

### イ. 利用状況

#### ■ 市町村別／性別人員

2024年3月31日現在

市町村	静岡市	市 外	県 外	合 計
男	26	1	－	27
女	89	1	－	90
合 計	115	2	－	117

#### ■ 性別／年齢構成人員

市町村	静岡市		市 外		県 外		合 計
	男	女	男	女	男	女	
年 齢 構 成	～59	－	－	－	－	－	－
	60～64	－	－	－	－	－	－
	65～69	2	3	－	－	－	5
	70～74	1	1	1	－	－	3
	75～79	2	8	－	1	－	11
	80～84	9	19	－	－	－	28
	85～89	6	21	－	－	－	27
	90～94	3	22	－	－	－	25
	95～99	3	10	－	－	－	13
	100～	0	5	－	－	－	5
平均年齢		男 83.41 歳	女 87.37 歳	全 体 86.45 歳			



■ 介護度別／性別人員

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	－	－	10	15	2	27
女	－	－	29	43	18	90
合計	－	－	39	58	20	117
割合	0.0%	0.0%	33.3%	49.6%	17.1%	平均介護度 3.84

ウ. 年間利用者サービス実施状況

	行 事	地域ボランティア協力・支援
4月	桜レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
5月	端午の節句、母の日レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
6月	父の日レクなど（各フロア随時） 10日 英和女学院 花の日訪問 15日 静岡ホーム保育園 花の日訪問	感染症予防対策のため中止 英和女学院学生 5名、引率教員 1名 静岡ホーム保育園園児 27名、引率教員 3名
7月	七夕レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
8月	23~31日 夏祭り（各フロア）	感染症予防対策のため中止
9月	11~22日 敬老週間（各フロア）	感染症予防対策のため中止
10月	運動会レクなど（各フロア随時） 19日・26日 入所者健康診断 19日 インフルエンザワクチン接種	感染症予防対策のため中止
11月	4日 英和女学院 秋の収穫祭訪問 8日 インフルエンザワクチン接種 24日 総合防災訓練 29日 新型コロナワクチン接種	英和女学院学生 16名、引率教員 1名 感染症予防対策のため中止
12月	3日 柳町地区防災訓練 6日・13日 新型コロナワクチン接種 クリスマスレクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
1月	お正月レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
2月	節分レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
3月	ひな祭りレクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止

\* その他、各フロアでおやつバイキング等に参加

月	内 容	実施日	月	内 容	実施日
余 暇	電電菰の会歌の会	中 止	看 護	総回診	月 4~5 回
	民謡クラブ	中 止		皮膚科往診	月 2 回
	書道教室	中 止		歯科指導	月 1 回
	外 出	適 宜		入所者健康診断	年 1 回
	レクリエーション（季節行事）	随 時		インフルエンザワクチン接種	年 1 回
	リハビリ体操（各フロア）	毎 日		新型コロナワクチン接種	年 2 回
	おやつバイキング（各フロア）	毎 日		血圧測定	週 2 回
	誕生会（各フロア）	月 1 回		嗜好調査	半年毎
介 護	入 浴	週 2 回	栄 養	体重測定	月 1 回
	シーツ交換	週 1 回		季節行事食	随 時
	ケアカンファレンス	月 10 回程度		防 災	防災訓練（月 1 回）
	理 髪	月 2 回			
	美 容	月 1 回			

## 2. デイサービスセンター清流の郷

### ア. 運営概要

今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、来所時のうがい・手洗い、デイフロアでの手指消毒、マスクの着用確認を行い、送迎車内やデイルームの消毒・換気を継続しました。

しかし2024年2月下旬から3月上旬にかけて、デイサービス利用者13名、職員4名が新型コロナウイルスを発症しました。感染対策を講じた上でデイサービスの営業は継続し、静岡市介護保険課に報告書を提出しました。感染が終息した3月中旬には、デイルーム内のレイアウトを変更し、利用者が向かい合って4人掛けのテーブルに座るコロナ前の配置に戻しました。

活動内容では、個別機能訓練・小集団体操の継続と拡充、作業療法を兼ねた折り紙やちぎり絵の制作、間違い探しや計算問題、グループでのカードゲームといった認知症予防の脳トレに取り組みました。

地域との交流では、施設へ訪問された静岡ホームの園児に手作りのプレゼントを渡して感謝の気持ちを伝え、静岡英和女学院の訪問の様子をフェイスブックで発信しました。12月には柳町の防災訓練に参加し、災害時の地域との連携を確認しました。

今年度は2024年度に義務化されるBCP計画の策定に取り組みました。次年度は災害と感染症発生を想定したBCP訓練を実施する予定です。

実施月	行事内容	レクリエーション活動等
4月	輪投げ大会 DVD鑑賞	～毎月～
5月	母の日 カーネーション作り	カレンダー作り
6月	父の日 カード作り	体重測定
7月	七夕の会 飾り作り	体力測定
8月	夏祭り 敬老の日準備	防災訓練
9月	敬老の日 運動会準備	書道
10月	運動会	季節の壁飾り制作
11月	壁面作り クリスマス準備	～毎日～
12月	クリスマス会 干支作り	脳トレ（パズル 漢字 計算 むり絵など）
1月	正月遊び	生活機能向上運動（個別）
2月	節分 お雛様作り	小集団機能向上訓練
3月	雛祭り 春の壁飾り	嚙下体操 作業療法

## 3. 厚生苑ケアマネジメントサービス

### ア. 運営概要

4年を超えるコロナ禍の影響が残る1年でした。5月には5類感染症に移行し、一般の社会活動は再開に動き出しましたが、高齢者の感染や重症化のリスクを考慮して、利用者や家族の体調確認をしてからの訪問、他事業所と感染情報の共有と感染拡大防止に努めました。

ケアマネジメント支援の傾向として、コロナの影響による活動量の低下、それに伴う運動機能の低下、転倒、病状の進行による入院や入所が相次ぎ、支援終了に至る事例が多くありました。また、一人暮らしや高齢者世帯、かつ近隣に家族のいない利用者が目立ち、緊急対応や通

院介助をケアマネジャーが担う支援事例が増加しています。さらに 60 代 70 代の利用者が担当の 1 割を超え始め、「団塊の世代」への支援が増加しています。

支援困難ケースの増加、業務の多様化など、ケアマネジャーを取り巻く環境は厳しくなっていますが、今年度も事業所内で情報共有と連携協働を意識し、職員の負担軽減とより良い利用者支援に取り組みました。

加えて今年度は BCP 計画を策定し、安否確認優先順位表に基づいた机上の BCP 訓練を実施しました。次年度も平常時から利用者ごとの課題や支援の緊急性を把握し、災害発生時には優先順位が高い方から安否確認が行えるよう取り組んでいきます。

## 4. 厚生苑ホームヘルプサービス

### ア. 運営概要

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行し、インフルエンザ同様に感染が判明した利用者の訪問を行うようになりました。まず職員自身の健康管理を第一に行ったうえで、利用者の体調確認に対して一段と配慮するように努めました。

体調不良の利用者に対しては、必要に応じて、利用者本人や家族に理解と協力を得られるよう報告・連絡・相談を密に行い対応しました。

利用者の状況は、一人暮らしや高齢者世帯、近くに頼れる人がいない方が年々増加傾向にあります。家族の協力はあっても身体状況や生活環境などにより、自宅で過ごすことが難しく、「いずれは施設入所」を見据えたケースが増加してきました。「介護保険サービス」とひと括りにはできない、各ケースに応じた柔軟性のある訪問介護が求められていることを実感しました。前年度に引き続き、サービス提供責任者も訪問を重ね、利用者やサービスの現状を知り、よりよいサービスの提供と継続を目指して力を注ぐことが出来ました。

2024 年度からは、BCP 計画の訓練の実施が本格的になります。職員への周知と研修を継続しながら、訪問介護に必要な知識や技能を高め、確実な情報共有と連携に努めていきます。

### イ. 利用状況

#### 利用世帯状況と構成

2024 年 3 月 31 日現在

世帯状況	世帯数	世帯構成	世帯数
一般世帯 (利用料負担率 10・20・30%)	48 世帯	ひとり暮らし	44 世帯
社会福祉法人減免世帯 (7.5%)	1 世帯	高齢者世帯	6 世帯
生活保護世帯 (0%)	8 世帯	その他	7 世帯
合計	57 世帯	合計	57 世帯

最低年齢 68 歳 最高年齢 97 歳

## 5. 各種委員会・会議活動

### ア. 生活向上委員会

#### ① 高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会

指針・規定に基づき、切迫性・非代替性・一時性を確認し、今年度、身体拘束実施者はいませんでした。虐待予防・発見チェックシートを実施し、虐待につながる不適切ケアについて考えました。身体拘束排除の知識や、認知症の研修を実施し、身体拘束排除や虐待防止に関する理解について学びました。

#### ② 安全管理・感染症対策委員会

安全管理では、毎月、事故・ヒヤリハット報告書の集計分析を行い、職員へ予防策の徹底を図りました。感染症については、新型コロナウイルス、食中毒、ノロウイルスに対しての研修を実施し、予防策や発症した際の対応方法について学びました。

#### ③ 食事・口腔ケア委員会

食事については、厨房の委託業者と共に、食事提供の課題と改善策について話し合いました。口腔ケアについては、歯科医師から歯科指導と口腔機能維持にかかる助言や指導を受け、委員会内で共有を行いました。状態が低下した方への補助食品の使用、食形態の変更を連携して行いました。

#### ④ 入浴・褥瘡予防対策委員会

利用者の皮膚状態や、軟膏と処置の仕方について情報交換を行いました。褥瘡発生を未然に防ぐため、体位交換枕やエアーマット、マットレスの適正な使用方法を確認しました。委員会が主体となり、ポジショニングによる褥瘡・拘縮予防研修を実施しました。

#### ⑤ 広報・アクティビティ委員会

七夕、クリスマス、節分などの季節行事や食事・音楽のレクリエーションをフロア毎に行い、利用者の皆さんに楽しんでいただきました。8月にはフロアごとに夏祭りを開催し、輪投げや魚釣りのゲームを楽しみました。9月には柳町の水神祭に参加し、地域の方との交流を楽しみました。

#### ⑥ 排泄委員会

オムツの発注・納品や備蓄用品の検討、ポータブルトイレの定期清掃など、日常業務に直結した排泄介護に関する話し合いを行いました。日中のオムツ外しをすすめ、自立支援を行うと共にコスト削減に努めるよう活動しました。

### イ. 会議活動

#### ① 施設運営会議

毎月1回、施設長・課長・管理栄養士・看護師・フロアリーダー・生活相談員などによる会議を開催し、事業実施状況の報告、法人動向の報告、清流の郷運営に関しての検討と情報の共有を行いました。

#### ② フロア会議

今年度は感染症予防のために控えていたフロア会議を徐々に再開し、運営会議・生活向上委員会の報告、利用者の心身の変化に応じた統一した介護ができるよう課題やケア内容について情報の共有を行いました。開催回数が少ない分については、日常業務の中での情報共有に努めました。

#### ③ ケアカンファレンス（担当者会議）

介護支援専門員が中心となり、利用者・家族の要望に沿った個別介護サービス計画について多職種での検討を、感染症予防の観点から書面で行いました。

#### ④ 施設介護職員会議

例年、外部研修報告、内部研修などを計画していましたが、感染症予防の観点から実施を控えました。集合会議に変えて、動画を活用した研修を個人ごとに行いました。

⑤ 通所介護会議

毎月1回、経営会議報告、研修報告、通所介護事業運営に関する検討や決定、利用者情報の共有などを行いました。

⑥ 衛生管理委員会

毎月1回、衛生管理者による施設内の衛生状況について、運営会議の参加者に報告と課題の説明があり、改善点について検討しました。

⑦ 防火・防災管理委員会

施設長、防火管理者が中心となり、防災訓練の企画と実施のための会議を主に運営会議内で行いました。11月には地震発生・停電・通電火災を想定した訓練を行い、実際に全館停電を実施し非常発電装置を作動させました。その後、職員出勤率30%を想定したBCP訓練を実施しました。

⑧ 優先入所判定・虐待防止・苦情解決第三者委員会

新緑の郷と合同で開催しました。第三者委員2名、両施設の施設長、生活相談員、看護師、介護職員、管理栄養士が交代で参加し、多角的な意見から入所候補者を決定しました。また、虐待が疑われる案件や苦情を報告し、第三者委員から客観的な意見を得た上で再発防止策について話し合いました。

⑨ ミールラウンド

協力歯科医師のほか関係職種職員が、昼食時の利用者の食事摂取状況の確認と改善点の検討を毎月2回行いました。

## 6. ボランティア活動

### ア. 活動状況

月	件数 (件)	延人数 (人)	ボランティア内訳						1日 平均 (人)
			グループ		個人		園児・中学 高校生等		
			団体数 (団体)	延人数 (人)	件数 (件)	延人数 (人)	団体数 (団体)	延人数 (人)	
6	2	32	—	—	—	—	2	32	1.1
11	1	16	—	—	—	—	1	16	0.5
計	3	48	—	—	—	—	3	48	0.1

### イ. 活動団体

- ・ 静岡ホーム保育園／静岡英和女学院中学校・高等学校



## 新緑の郷 事業取組み概要

施設入所〔特別養護老人ホーム〕 【目標：実績】年間利用者 14,274名：14,472名／稼働率 97.50%：98.85%  
通所介護〔デイサービスセンター〕 【目標：実績】年間利用者 7,841名：7,204名／稼働率 72.00%：66.40%

### (1) アフターコロナを見据えた「日常」の回復と再構築

#### (ア) 日常化にむけての活動の再開及び内部点検と評価

入所者の生活や一日の流れの見直し、業務の内部点検を行いました。各フロア、デイサービスの職員が一丸となり、「感染対策中心の業務」から「入所者の生活支援」へ転換すべく取組みました。中止していたレクリエーション活動を再開し、デイサービス、特養ともフロアレイアウトの変更も行いました。テーブルを囲むことで利用者、入居者からの明るい会話も聞かれるようになりました。

#### (イ) 社会的感染対策の緩和と施設内対策継続の両立

利用者を守るため、職員が施設にウイルスを持ち込まないという意識を継続して持ち、情報収集と施設職員間で情報共有を行いました。施設内部での感染がありましたが、施設内で行っていた感染症対策訓練の成果もあり最小限で感染を止めることができました。第5類へ移行後は近隣への外出、外気浴、集団レクリエーションを再開し、入居者の生活の充実を図ることができました。

#### (ウ) 地域及び利用者家族の意見参集と事業への反映

入居者家族へ満足度アンケートを行い、感染症対策下におけるご家族の不安な点や心配ごと、加えて、施設に対する大きな期待を職員各々が実感できました。施設からの情報発信の重要性にも気づかされる結果となりました。11月には清流の郷と合同で、利用者家族・地域住民を迎え懇談会を開催し、直接厚生苑への期待や意見も多く聞かれ、今後の施設と地域のかかわりを構築することが目標となりました。

### (2) 新基準による非常時の対応

#### (ア) BCP計画の策定

BCP計画を両施設共通形式で作成することができました。作成することで、緊急時に優先して行うべき行動が明らかになり、職員の行動が入所者、利用者の命に関わること、運営面でも被害を最小限に留めることが重要なことが理解することができました。

#### (イ) 想定訓練の実施

BCP計画をもとに感染症対策訓練を実施しました。感染症における初動対応の重要性を認識し、実践に即して訓練することで、職員それぞれが初動に必要な対応手法を獲得することができました。

## 主たる活動報告一覧表（新緑の郷）

月	実施事項	実施日
4月	新人職員研修	3日（月）
	運営会議（新型コロナ関連、組織の再編、事業計画、研修 他）	24日（月）
5月	運営会議（新型コロナ関連、土曜日直について、事業計画 他）	22日（月）
	監事監査（決算監査）	23日（火）
	入居者コロナワクチン接種	13日（火）
6月	運営会議（新型コロナ関連、面会について、安全管理関係 他）	26日（月）
	七夕レク	6日（木）
	スイカ割りレク	20日・25日
7月	運営会議（事業計画、職員健康診断、人事報告、新型コロナ関連 他）	25日（火）
	職員健康診断	8月～11月
8月	合同夏祭り	23日（水）
	運営会議（事業計画、居室環境整備、新型コロナ関連 他）	28日（月）
	合同敬老会	17日（日）
9月	流しそうめん	19日（火）
	運営会議（事業計画、職員研修、新型コロナ関連 他）	25日（月）
	入居者健康診断	13日（金）
10月	入居者コロナワクチン接種	19日（木）
	運営会議（新型コロナ関連、職員インフルについて 他）	24日（月）
	合同運動会	5日（日）
	入居者インフルエンザワクチン接種	14日（火）
11月	監事監査（定期監査）	16日（木）
	入居者インフルエンザワクチン接種	28日（火）
	運営会議（新型コロナ関連、安全管理関係、事故報告 他）	28日（水）
	防災訓練	20日（水）
	クリスマスレク（ケーキ作り）	25日（月）
12月	運営会議（新型コロナ関連、事業報告、職員ストレスチェック 他）	28日（木）
	新年訓示	4日（水）
1月	各フロアでの面会開始	22日（月）
	運営会議（新型コロナ関連、面会について、事業計画 他）	22日（月）
2月	静岡市指導監査・運営指導	23日（火）
	福祉機器展示会視察：名古屋吹上ホール	25日・26日
3月	静岡福祉大学社会福祉士養成課程実習受入	8日～21日

# 新緑の郷 施設運営報告

## 1. 特別養護老人ホーム 厚生苑 新緑の郷

### ア. 運営概要

新型コロナウイルス感染症への対応も4年目となりました。職員に発症があっても入所者への感染は最小限に留めるため、職員一人ひとり感染防止への意識を途絶えさせないよう、対策に取り組みました。

一方、5類移行を機にレクリエーション活動を再開し、9月には施設全体行事として敬老会、11月はフロア合同運動会と、利用者が集えるレクリエーション行事を企画し実施（再開）することができました。フロア毎にもレクリエーションを行い、利用者の生活の質の向上に繋がりました。

さらには、新型コロナが収束に向かう中、面会や施設見学の受入れに向けて入所者の居室環境の点検・再整備を行いました。年明けからは制限を設けつつも、居室での面会を再開しました。コロナ禍の間はご家族を施設内にご案内することができなかつたので、居室やフロアへのご案内できるようになったことに職員も大変安堵しました。加えて、感染対策への労いの言葉をいただくことでの職員のモチベーションアップにも繋がりました。

今年度は4人の新卒職員を新緑の郷に迎えました。前年に引き続き、新人職員育成100日プログラムを活用し施設全体で育成に取組み2年目を迎えることができました。

2023年度は10名（前年：15名）を施設で看取りました。前年同様に感染対策のもと家族との面会を行い全職員で最期まで丁寧な介護に努めお見送りさせていただくことができました。

### イ. 利用状況

#### ■ 市町村別／性別人員

2024年3月31日現在

市町村	静岡市	市 外	県 外	合 計
男	5	－	－	5
女	35	－	－	35
合 計	40	－	－	40

#### ■ 性別／年齢構成人員

市町村	静岡市		市 外		県 外		合 計
	男	女	男	女	男	女	
年 齢 構 成	～59	－	－	－	－	－	－
	60～64	－	－	－	－	－	－
	65～69	－	1	－	－	－	1
	70～74	－	－	－	－	－	－
	75～79	1	－	－	－	－	1
	80～84	－	3	－	－	－	3
	85～89	2	6	－	－	－	8
	90～94	1	10	－	－	－	11
	95～99	1	14	－	－	－	15
	100～	－	1	－	－	－	1
平均年齢		男 86.43 歳		女 91.77 歳		全 体 91.11 歳	



■ 介護度別／性別人員

介護度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男	－	－	3	2	－	5
女	－	－	9	21	5	35
合計	－	－	12	23	5	40
割合	0.0%	0.0%	30.0%	57.5%	12.5%	平均介護度 3.83

ウ. 年間利用者サービス実施状況

	行 事	地域ボランティア協力・支援
4月	桜レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
5月	端午の節句、母の日御祝（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
6月	父の日御祝、散歩レク（各フロア随時） 13日 新型コロナワクチン接種	感染症予防対策のため中止
7月	七夕レク（各フロア開催） 20、25日 スイカ割り	感染症予防対策のため中止
8月	23日 夏祭り	感染症予防対策のため中止
9月	17日 合同敬老会 流しそうめんレク	感染症予防対策のため中止
10月	13日 入居者健康診断 19日 新型コロナワクチン接種 ハロウィンレク	感染症予防対策のため中止
11月	14・28日 入居者インフルエンザ予防接種 5日 合同運動会	感染症予防対策のため中止
12月	クリスマス会レク（各フロア開催）	感染症予防対策のため中止
1月	お正月レク（月間レク） おやつレク（各フロア開催）	感染症予防対策のため中止
2月	節分レク（各フロア開催）	感染症予防対策のため中止
3月	ひな祭り（各フロア開催）	感染症予防対策のため中止

月例	内 容	実施日	月例	内 容	実施日
余 暇	踊り鑑賞と歌う会	中 止	看 護	総回診	月4～5回
	書道教室	中 止		皮膚科往診	月1回
	フラワーアレンジメント	中 止		入所者健康診断	年1回
	外 出	適 宜		インフルエンザワクチン接種	年1回
	レクリエーション	随 時		新型コロナワクチン接種	年2回
	リハビリ体操(フロア毎)	毎 日		血圧測定	週2回+随時
介 護	入 浴	週2回	栄 養	検 尿	随 時
	シーツ交換	週1回		嗜好調査	年1～2回
	ケアカンファレンス	月10回程度		体重測定	月1回
	理 髪	月2回		特別メニュー	月1回
	美 容	－	防 災	防災訓練（月1回）	総合防災訓練 年1回

## 2. デイサービスセンター新緑の郷

### ア. 運営概要

今年度は前年度までとは比べて、新型コロナウイルス感染症の罹患者も減少傾向にあり、コロナ禍前の営業に戻す方法を模索した1年となりました。新型コロナウイルスとインフルエンザが同時流行する時期もありましたが、利用者・職員ともに罹患者は出たものの感染が拡大することなく営業をすることができました。3月からはフロアレイアウトを従来の4人掛けテーブル配置に戻して活動し、利用者からも好評を得ています。

営業状況としては、上半期と下半期で大きく状況が異なりました。上半期は予定稼働率が80%前後と高い数値で推移をしていましたが、8月頃より稼働率が低下し始め、秋～冬にかけて落ち込みが顕著になりました。10月以降は終了者数が新規の利用者数を上回る傾向が続きました。また、週に複数回ご利用していた利用者が終了となる一方、新規利用者は週1～2回程度に止まる傾向が続いており、登録人数は回復しても稼働率に結びつかない状況が続いています。

1月からは介護支援専門員との直接的な関わりをより増やすようアプローチ方法を見直し、年度末時点では定期的に体験利用者を獲得できるようになっています。次年度もそれら取り組みを継続しつつ、新たな居宅介護支援事業所へも働きかけ、コロナ明けの新緑の郷デイの活動のPRをしていきます。

年間を通して計画対比 91.88%、前年対比 97.08%となりました。

実施月	行事内容	レクリエーション活動等
4月	お花見	～毎月～
5月	映画鑑賞	カレンダー作り
6月	DAM レクリエーション	体重測定
7月	七夕飾り ハンドマッサージ	体力測定
8月	DAM レクリエーション	防災訓練
9月	敬老会 流しそうめん	季節の作品作り
10月	マロンケーキ作り	
11月	ハンドケア おやつ作り	～毎日～
12月	クリスマス会 玉入れ	脳トレ パズル 計算 ぬり絵 屋外歩行
1月	正月遊び 七草がゆ作り	生活機能向上運動（個別）
2月	節分祭	小集団機能向上訓練
3月	卓上カーリング おやつ作り	嚙下体操 作業療法

### 3. 各種委員会・会議活動

#### ア. 生活向上委員会

##### ① 高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会

コロナ禍にあり委員会主催の職員を対象にした合同研修は実践ができず、それぞれ動画研修を実施し、介護の振り返りを実施しています。身体拘束廃止については、毎月身体拘束に該当する入所者の確認を継続しました。

##### ② 安全管理・感染症対策委員会

安全管理では、ヒヤリハット、事故報告書の集計分析を行い、重大事故に繋がらない対応方法を検討しました。また、動画研修を実施し事故予防への意識強化を図りました。

感染対策では新型コロナウイルス感染症対策の初動体制の構築のための取り組みを行い、施設へ感染持ち込み防止、初動訓練等、委員長と看護課が中心となり取り組みました。

##### ③ 科学的介護情報システム「LIFE」対応委員会

2022年度の報酬改定により導入されたLIFEの情報の収集・活用を推進するため、新たに委員会を立ち上げ取り組みました。褥瘡の発生防止、口腔衛生の管理、ADL値の推移等、入所者のデータ収集と情報提出を行いました。

口腔衛生の管理では、協力歯科医師から入所者の特性に合わせた口腔ケアの助言をいただき、日々の介護に取り入れました。

##### ④ 食事・アクティビティ委員会

入所者の身体状況に合わせた栄養管理・食事の提供に努めました。フロア合同で敬老会、運動会を実施。季節ごとの行事、おやつレクの充実も図り入所者の生活の向上に努めました。

##### ⑤ 入浴・施設美化委員会

利用者への適切な入浴機会の提供のための活動、衛生管理等に基づく施設の美化活動への取り組みを行いました。面会再開に向け施設内の環境整備を行いました。

#### イ. 会議活動

##### ① 施設運営会議

毎月1回、施設長・介護課長・看護課長・フロアリーダー・デイ管理者による会議を開催しました。事業実施状況の報告、法人動向の報告、新緑の郷運営に関する検討と情報の共有を行いました。

##### ② フロア会議

今年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら集合形式での会議は行うことができました。書面による運営会議・生活向上委員会の報告、利用者の心身の変化に応じた統一した介護ができるよう課題やケア内容についての検討と情報共有を行いました。

##### ③ ケアカンファレンス（担当者会議）

介護支援専門員が中心となり、利用者・家族の要望に沿った個別介護サービス計画について多職種で検討を行いました。コロナの感染状況によりWeb会議、情報照会による代替としました。

##### ④ 施設全体会議

例年、介護、看護、相談等施設内の多職種による情報共有および研修の場としておりますが、集合形式の会議は行うことができませんでした。研修については全体会議に代え、映像・書面で「虐待に関する理解」「身体拘束排除の知識」「感染症、食中毒の予防及び拡大防止の知識」等の研修を行いました。

⑤ 通所介護会議

毎月1回、経営会議報告、研修報告、通所介護事業運営に関する検討や決定、利用者情報の共有などを行いました。

⑥ 衛生管理委員会

毎月1回、衛生管理者による施設内の衛生状況について、運営会議の参加者に報告と課題の説明があり、改善点について検討しました。

⑦ 防火・防災管理委員会

防災に関することについて会議を開催しました。今年度は夜間を想定した防災訓練を机上訓練として実施しました。実体験としては消防署への発報方法、消火栓・水消火器を使用した初期消火、発電機の操作方法を学びました。その後、職員出席率30%を想定したBCP訓練を実施しました。

⑧ 優先入所判定委員会・苦情解決第三者委員会

清流の郷と合同で開催しました。第三者委員2名、両施設の施設長、生活相談員、看護職員、介護職員、管理栄養士が交代で参加し、多角的な意見から入所候補者を決定しました。また、虐待が疑われる案件や苦情を報告し、第三者委員から客観的な意見を得た上で再発防止策について話し合いました。



# 法人概要

- 1 法人名 社会福祉法人 静岡厚生会
- 2 代表者 榎本 雅亮
- 3 所在地 静岡市葵区北番町 17-5
- 4 認可日 1979年11月26日
- 5 登記日 1980年1月23日
- 6 組織

〔顧問〕	鈴木 脩造	〔役員〕	理事長	榎本 雅亮
〔相談役〕	芹澤 博		専務理事	松田 晃
	寺尾 恵亘		理事	中川 恵美子
〔評議員〕	小野田ふみ子		理事	中山 千砂子
	河俣 貴之		理事	海野 フミ子
	坂野 浩義		理事	内藤 孝二
	鈴木 文隆		監事	長 嶋 吉宏
	鈴木 洋一		監事	大石 哲生
	谷 功			
	中村 敏六			
	山本 正樹			

〈2024年3月31日現在〉

## 7 活動拠点

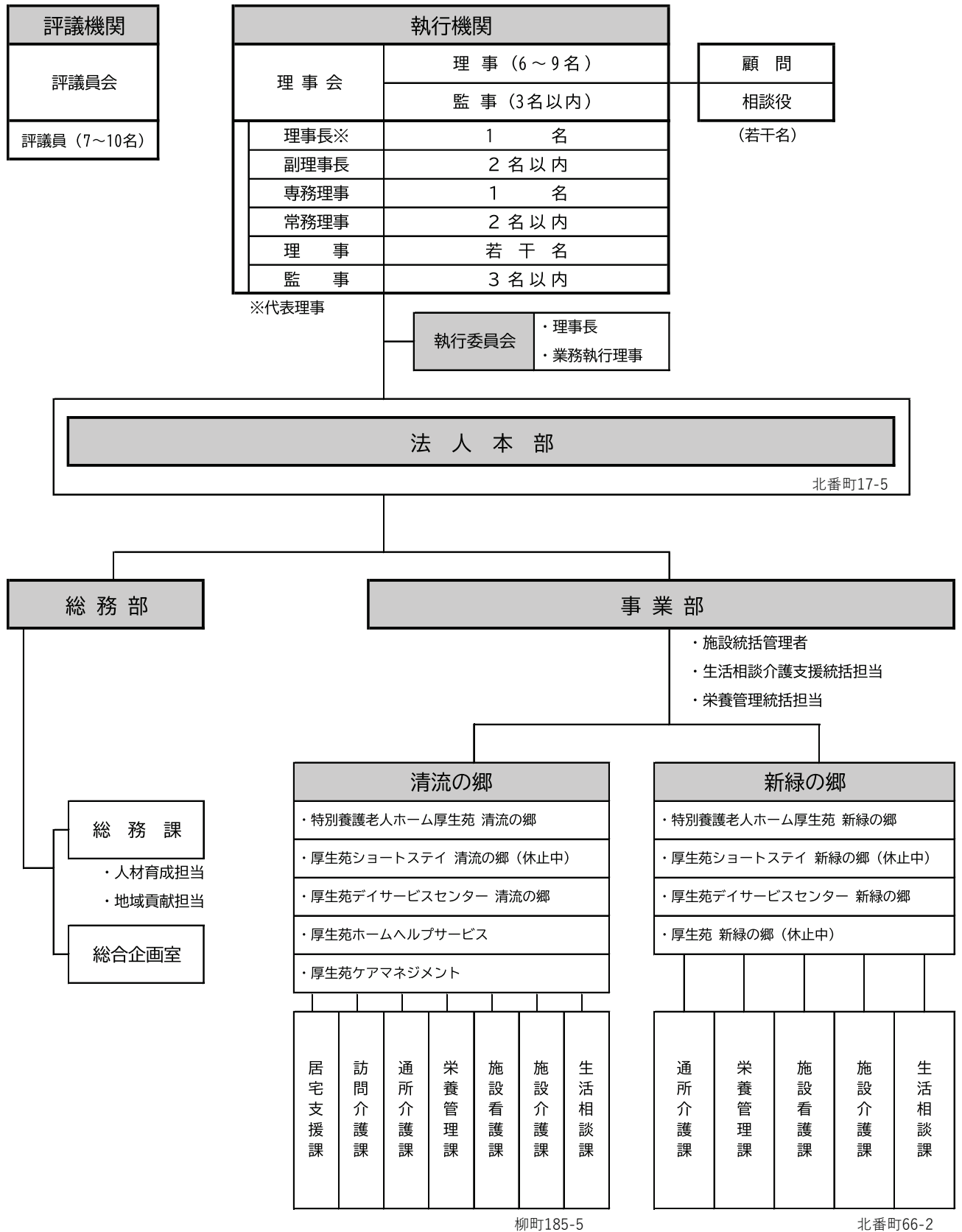
拠点名	所在地	敷地	建物	構造
厚生苑 さくらの郷	静岡市葵区北番町 17-5	347.19 m <sup>2</sup>	643.54 m <sup>2</sup>	鉄骨3階建
厚生苑 清流の郷	静岡市葵区柳町 185-5	3,295.49 m <sup>2</sup>	6,358.75 m <sup>2</sup>	鉄骨4階建
厚生苑 新緑の郷	静岡市葵区北番町 66-2	1,773.36 m <sup>2</sup>	3,350.73 m <sup>2</sup>	鉄骨4階建

## 8 実施事業

事業部門 (管理者)	実施事業	定員	開始日
厚生苑 清流の郷 (施設長 大檐 豊)	特別養護老人ホーム	120人	1980年6月1日
	ショートステイ (空床利用)	－人	1982年11月12日
	デイサービスセンター	35人	1996年4月1日
	ケアマネジメントサービス	－	1999年10月1日
	ホームヘルプサービス	－	1996年4月1日
厚生苑 新緑の郷 (施設長 武田 剛)	特別養護老人ホーム (10床休止中)	40人	2005年9月1日
	ショートステイ (空床利用)	－人	2005年9月1日
	デイサービスセンター	35人	2005年9月1日
	ケアマネジメントサービス	－	2010年9月1日
厚生苑 さくらの郷 (責任者 松田 晃)	デイサービスセンター	5人	2021年4月1日
	在宅(老人)介護支援センター	－	2017年7月3日

9 組織図

社会福祉法人 静岡厚生会



10 職員配置状況

		雇用形態	管理者	介護職員	訪問介護員	看護職員	機能訓練指導員	支援専門員	主任介護生活相談員	介護支援専門員	管理栄養士	労務職員	運転手	施設駐在員	事務職員	産休育休者	総計		
厚生苑 さくらの郷	法人本部	正規職員	1															1	
		有期職員	1																1
		計	2																2
	人材育成室 地域貢献室 (老人介護支援センター)	正規職員																	
		有期職員															1		1
		計															1		1
	拠点計	正規職員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		有期職員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
		計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
厚生苑 清流の郷	総務部	正規職員	(1)													5		5	
		有期職員										1							1
		計	(1)									1				5		6	
	施設介護	正規職員	1	49		3	1		1	1						2			58
		有期職員		9		6	1		1	2	1				3				23
		計	1	58		9	2		2	3	1				3	2			81
	通所介護	正規職員								3									3
		有期職員		8		3	1		1					1					14
		計		8		3	1		4					1					17
	居宅介護支援	正規職員							1										1
		有期職員							4										4
		計							5										5
	訪問介護	正規職員			2														2
		有期職員			5														5
		計			7														7
拠点計	正規職員	1	49	2	3	1	1	4	1	0	0	0	0	7	0	0		69	
	有期職員	0	17	5	9	2	4	2	2	2	1	3	0	0	0			47	
	計	1	66	7	12	3	5	6	3	2	1	3	7	0	0			116	
厚生苑 新緑の郷	事業部	正規職員							(1)									(2)	
		有期職員	(1)															(1)	
		計	(1)						(1)	(1)								(3)	
	施設介護	正規職員	1	19		2			1	1									24
		有期職員		4										4	1				9
		計	1	23		2			1	1				4	1				33
	通所介護	正規職員		2					3										5
		有期職員		4		2	1						1						8
		計		6		2	1		3				1						13
	拠点計	正規職員	1	21	0	2	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	29
		有期職員	0	8	0	2	1	0	0	0	0	1	4	1	0	0	0	0	17
		計	1	29	0	4	1	0	4	1	0	1	4	1	0	0	0	0	46
法人全体	正規職員	3	70	2	5	1	1	8	2	0	0	0	7	0	0			99	
	有期職員	1	25	5	11	3	4	2	2	2	2	7	2	0	0			66	
	計	4	95	7	16	4	5	10	4	2	2	7	9	0	0			165	

2024年3月31日現在(単位:人)

## II. 法人運営状況

### 1 理事会（開催回数 9 回）

回数	開催日時等	理事出席／総数 〔監事出席／総数〕	審議事項・報告	
1 (第 196 回)	2023 年 5 月 25 日 (木) 午後 2 時 00 分から午後 3 時 35 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	5 人/6 人 (2 人/2 人)	報告	① 理事長・業務執行理事の執行状況 ② 理事長専決事項
			議題	① 事業計画の件 ② 短期資金借入の件 ③ 事業報告及び計算書類等の承認の件 ④ 役員賠償責任保険の件 ⑤ 役員及び評議員の報酬等に関する基準の件 ⑥ 評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定の件
2 (第 197 回)	2023 年 6 月 15 日 (木) 午後 1 時 30 分から午後 1 時 40 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	6 人/6 人 (2 人/2 人)	議題	① 次期役員選任の件
3 (第 198 回)	2023 年 6 月 15 日 (木) 午後 4 時 40 分から午後 5 時 00 分まで 於：厚生苑さくらの郷 2 階 デイルーム	6 人/6 人 (2 人/2 人)	議題	① 代表理事(理事長)の選定の件 ② 業務執行理事の選定の件 ③ 常勤役員選定の件 ④ 常勤役員の報酬年額の件 ⑤ 顧問・相談役の選任の件 ⑥ 第三者委員の選任の件 ⑦ 評議員選任・解任委員の選任の件
4 (第 199 回)	2023 年 7 月 30 日 (日)	書面審議	決議事項	① 各運営規程の一部改定の件
5 (第 200 回)	2023 年 9 月 7 日 (木) 午後 1 時 15 分から午後 4 時 30 分まで 於：厚生苑さくらの郷 2 階 デイルーム	6 人/6 人 (2 人/2 人)	議題	① 技能実習の件 ② 運営規程の件 ③ 賃金改定の件
6 (第 201 回)	2023 年 11 月 20 日 (月) 午後 4 時 15 分から午後 4 時 30 分まで 於：厚生苑さくらの郷 2 階 デイルーム	6 人/6 人 (2 人/2 人)	議題	① 臨時評議員会の招集の件
7 (第 202 回)	2023 年 12 月 7 日 (木) 午前 10 時 00 分から午前 11 時 50 分まで 於：厚生苑さくらの郷 2 階 デイルーム	5 人/6 人 (1 人/2 人)	報告	① 上半期の事業進捗状況(概要)の件
			議題	① 中長期計画の組立内容(案)の件
8 (第 203 回)	2023 年 12 月 14 日 (木) 午前 10 時 30 分から午前 11 時 20 分まで 於：厚生苑さくらの郷 2 階 デイルーム	6 人/6 人 (2 人/2 人)	議題	① 収支予算の変更の件 ② 中長期計画の組立内容の件
9 (第 204 回)	2024 年 3 月 28 日 (木) 午後 1 時 30 分から午後 4 時 20 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	6 人/6 人 (2 人/2 人)	報告	① 行政指導監査の結果報告の件
			議題	① 予算変更の件 ② 中長期計画の件 ③ 事業計画の件 ④ 収支予算の件 ⑤ 短期資金借入の件 ⑥ 諸規程・規則改正の件 ⑦ 業務委託契約更新の件 ⑧ 役員賠償責任保険の件



## 2 評議員会（開催回数 2 回）

回数	開催日時等	評議員出席／総数 （監事出席／総数）	審議事項・報告
1 （第 70 回）	2023 年 6 月 15 日（木） 午後 2 時 10 分から午後 4 時 30 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	7 人／8 人 （2 人／2 人）	議題 ① 計算書類及び財産目録の承認の件 ② 次期役員選任の件 ③ 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給基準の件
			報告 ① 事業報告書の件 ② 組織改編の件 ③ 事業計画書・収支予算書の件
2 （第 71 回）	2023 年 12 月 14 日（木） 午後 2 時 00 分から午後 4 時 00 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	7 人／8 人 （2 人／2 人）	報告 ① 事業の進捗状況と決算見込みの件 ② 収支予算の変更の件 ③ 上半期監事監査報告の件 ④ 外国人実習生の件 ⑤ 中長期計画の組立内容の件

## 3 監 査（開催回数 3 回）

開催日時等	実施立会	監査項目
監事監査[決算監査] 2023 年 5 月 23 日（火） 午前 9 時 30 分から午後 3 時 45 分まで 総務部 厚生苑 清流の郷 厚生苑 新緑の郷	監 事 長 嶋 吉宏 大石 哲生 理事長 榎本 雅亮 専務理事 総務部長 松田 晃 常務理事 事業部長 中山千砂子 清流の郷施設長 大檐 豊 新緑の郷施設長 武田 剛	「監事のための監査チェックマニュアル(改訂第 14 版)」による 2022 年度 決算監査 (業務監査) 行政監査の指摘事項確認と改善状況、定款の状況、理事の業務執行状況、登記の状況、事業全般の状況、施設運営の状況、社会福祉充実計画、事業報告及び附属明細書 (会計監査) 予算の編成・執行状況、事業区分・拠点区分・サービス区分と帳簿の整備状況、残高確認と実査、計算書類・附属明細書の妥当性、介護保険関連施設
監事監査[定期監査] 2023 年 11 月 16 日（木） 午前 9 時 30 分から午後 4 時 00 分まで 総務部 厚生苑 清流の郷 厚生苑 新緑の郷	監 事 長 嶋 吉宏 磯貝 美佳 理事長 榎本 雅亮 専務理事 総務部長 松田 晃 常務理事 事業部長 中山千砂子 清流の郷施設長 大檐 豊 新緑の郷施設長 武田 剛	「監事のための監査チェックマニュアル(改訂第 14 版)」による 2023 年度 定期監査 (業務監査) 行政監査の指摘事項確認と改善状況、定款の状況、理事の業務執行状況、登記の状況、事業全般の状況、施設運営の状況、危機管理の状況、入所者預り金の管理状況、情報開示、特別の利益供与の禁止、社会福祉充実計画 (会計監査) 内部牽制組織の状況、収入と支出、物品購入と契約、介護保険関連施設
静岡市 社会福祉施設指導監査 (実施:静岡市福祉総務課) 2024 年 1 月 23 日（火）	監 事 長 嶋 吉宏 磯貝 美佳 理事長 榎本 雅亮 専務理事 総務部長 松田 晃 常務理事 事業部長 中山千砂子 清流の郷施設長 大檐 豊 新緑の郷施設長 武田 剛	「令和 5 年度 社会福祉施設（特別養護老人ホーム）指導監査資料」による監査 (社会福祉施設指導監査) ・ 処遇関係 ・ 会計/経理関係 ・ 運営/管理関係

#### 4 主要会議・行事

##### (1) 執行委員会（開催回数 7 回）

開催日時	2023 年 5 月 11 日（木）午後 2 時 00 分～	出席者	理事長 榎本雅亮
	7 月 6 日（木） 〃		専務理事 松田 晃
	9 月 7 日（木） 〃		常務理事 中山千砂子
	11 月 2 日（木） 〃		理事 内藤孝二
	2024 年 1 月 11 日（木） 〃		理事 海野フミ子
	3 月 7 日（木） 〃		理事 中川恵美子 ほか幹部職員
	3 月 21 日（木）午後 1 時 30 分～		

##### (2) 顧問・相談役報告会

開催日時	2023 年 7 月 27 日（木） 午前 11 時 30 分～午後 1 時 00 分 於：椿亭	出席者	相談役 芹澤 博	報告者	理事長 榎本雅亮 専務理事 松田 晃 常務理事 中山千砂子
------	--	-----	----------	-----	-------------------------------------

##### (3) 経営分析会議

開催日時	2023 年 11 月 20 日（月） 午前 2 時 00 分から午後 04 時 00 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	講師	杉山公認会計事務所 所長 杉山 明喜雄 「決算からの法人経営の特徴と課題」 石上社会保険労務士事務所 代表 石上 未紀 「積立有給制度について」 「精神障害の 労災認定基準について」	出席者	理事長 榎本雅亮 専務理事 松田 晃 常務理事 中山千砂子 理事 海野フミ子 理事 内藤孝二 理事 中川恵美子 監事 長 嵩吉宏 監事 磯貝美佳 ほか幹部職員
------	---	----	--	-----	---

##### (4) 次年度新卒採用者内定式及び入職前ガイダンス

開催日時	2023 年 3 月 4 日（月） 午前 9 時 00 分から午後 4 時 30 分まで 於：厚生苑さくらの郷 2 階 研修室	採用者	大学生 1 人 計 1 人	出席者	常務理事 中山千砂子 総務副部長 由良美香 人材育成室長 平澤 雅美 ほか 総務部担当者
------	--	-----	------------------	-----	---

#### 5 地域貢献事業

##### (1) 厚生苑在宅介護支援センターの運営

地区・町内の居場所づくり「い～とこあんざい」は、2018 年 3 月に厚生苑 JA さくらの郷を会場としてスタートしています。2023 年度は 4 月から再開しました。しぞ～かでん伝体操は民生委員主体ではなく、静岡厚生会が主体として 5 月から再開しました。地区社協の理事会・運営委員会 全 14 回、民児協の会議等は年間 24 回、安西二丁目町内会が 3 回、さくらの郷を利用されています。小学生に夏休みと冬休みの自習の場を提供しました。その他、安西小学校の児童及び地区作品展と末広中学校の地域作品展、安西ふれあいフェスタに参加及び作品を出展しました。

各関係機関との関係においては、圏域の安西・番町地域包括支援センターと連携を図り相談者の対応にあたりました。県地域包括・在宅介護支援センター協議会主催の職員研修及び総会は、主に書面での閲覧・オンラインで参加しました。

① 地区別 年間相談件数

地区	安西	番町	圏域外	匿名	合計	他機関紹介
相談人数	3人	0人	2人	0人	5人	4人
対応件数	3件	0件	2件	0件	5件	4件

② 相談内容（相談内容により複数にカウント）

相談内容	総計	相談内容	総計
介護保険申請からサービス利用までの支援		退院に関する相談	2件
認知症の相談		障害に関する相談	
生活状況の確認		生活保護に関する相談	
その他	3件	地域の情報提供（S型デイ等）	2件
虐待・虐待疑い		介護予防・日常生活支援総合事業	
在宅福祉サービス	1件	成年後見・日常生活自立支援事業	
消費者被害		苦情	
施設の入所相談	2件	総計	8件

③ 地域福祉活動への協力と支援

ア) 地域交流サロン「い〜とこあんざい」

利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催数	4	3	5	4	3	4	4	3	4	4	3	5	46回
利用者	13	15	14	8	7	10	17	2	14	15	10	15	140名
スタッフ	23	23	30	27	20	16	22	16	31	30	20	37	295名
合計	36	38	44	35	27	26	39	18	45	45	30	52	435名

イ) しぞ〜かでん伝体操

2023年5月より、運営主体を静岡厚生会として再開をしました。毎週金曜「い〜とこあんざい」開催時刻前を定刻と開催しています。

ウ) S型デイサービス 安西ひまわりの会（末広町公民館）

2023年度は毎月第2・4木曜日 10:00~11:00の開催。全22回、参加者・スタッフ含め481名の利用でした。感染対策を励行し開催されました。会場への本会からの職員の派遣や活動支援は見合わせました。

・高齢者の外出支援事業（福祉車両の無料貸出・おでかけ安西号の運用）

高齢や障害等の理由により移動外出が困難な方の通院や買い物・墓参・冠婚葬祭等の外出支援のため、本会が所有する移動外出支援用車両（車椅子が乗る車両 軽自動車）の貸し出しを行う事業です。※ 2023年度は貸し出しがありませんでした。

・地域の福祉人材の育成（ふれあいボランティア）

周辺地域住民のマンパワーの確保と福祉人材の育成の一つとして、有償ボランティア制度を導入、昼食の提供の他、活動回数に応じて静岡県くみあい商品券を提供しています。登録制で、見守りや話し相手・会食など高齢者の方々と一緒に過ごしていただく寄り添う活動が中心です。

※ 利用者への影響が大きい新型コロナウイルス感染症対策として、2023年度も受入れ中止を継続しました。

・生活困窮者自立支援制度の就労訓練事業

2015年4月に施行された生活困窮者自立支援制度で、生活困窮者や引きこもりなどですぐに一般就労に従事することが難しい人をサポートして就労訓練の機会や体験を行う事業で2018年9月に静岡市から就労訓練事業所の認定を受けました。自立相談支援機関の下で清流の郷の介護の補助業務の体験就労を提供することになりましたが、本年度の利用はありませんでした。

## 6 第三者委員会苦情解決・虐待報告会・優先入所判定会の開催状況

実施日	開催方法	苦情（虐待）件数	
		清流の郷	新緑の郷
4月14日	合同	(デイ1件)	—
5月12日	合同	(特養1件)	—
6月09日	合同	—	—
7月14日	合同	(デイ1件)	—
8月18日	合同	—	(デイ1件)
9月8日	合同	—	—
10月13日	合同	—	(デイ1件)
11月10日	合同	—	—
12月8日	合同	(特養1件)	—
1月12日	合同	—	—
2月9日	合同	—	(特養1件)
3月8日	合同	—	—
計		(特養2件) (デイ2件)	(特養1件) (デイ2件)

## 7 人材育成とキャリアパス支援の取組み

### (1) 新人研修

新卒採用職員の定着及び基礎力向上を目的に年間を通じて研修を実施しました。外部の研修専門機関による「新人職員育成100日プログラム」を実施しました。成長に応じて指導者と新人職員の知識・技術・メンタルのテストやチェック、面談などを実施しました。

実施日	形式	項目	内容	出席者数
4月1日～8日	集合	基礎教育	基本知識研修・基本技術研修	4名
4月10日	グループ	100日研修	テスト（指導者：スキルマトリックス）	4名
5月20日	グループ	100日研修	チェック&ヒアリング	4名
6月6日	集合	基礎研修	医療研修	4名
6月9日	グループ	100日研修	用語確認テスト	4名
6月15日	集合	振り返り	支援技術研修	4名
6月29日	グループ	100日研修	チェック&ヒアリング	4名
7月24日	グループ	100日研修	面談調査	4名
8月8日	グループ	100日研修	チェック&ヒアリング	4名
8月28日	グループ	100日研修	80日目テスト	4名
9月15日	グループ	100日研修	面談調査	4名
9月29日	グループ	振り返り	本採用 職員研修	4名
10月7日	グループ	100日研修	最終レポート	4名

9月 1日～ 3日	集 合	基礎教育	基本知識研修・基本技術研修	2名
11月 20日	グループ	100日研修	テスト（指導者：スキルマトリックス）	1名
11月 30日	グループ	100日研修	チェック&ヒアリング	1名
12月 20日	グループ	100日研修	用語確認テスト	1名
1月 9日	グループ	100日研修	チェック&ヒアリング	1名
1月 30日	グループ	100日研修	面談調査	1名
2月 18日	グループ	100日研修	チェック&ヒアリング	1名
3月 9日	グループ	100日研修	80日目テスト	1名
3月 29日	グループ	100日研修	面談調査	1名
4月 18日	グループ	100日研修	最終レポート	1名

## (2) 内部研修

研修を中心にWEB研修として開催しました。集合研修を避け 個人での視聴研修の形をとりましたが、その中でも感染流行期には対応ができない期間があり、3月は受講できなかった職員のための調整期間とし受講を進めました。清流の郷は主に日総研の動画研修、新緑の郷は、主に茶の水学院の動画研修とし、階層別研修と希望研修は YouTube 動画など共通の動画研修としました。

実施月	主 催	内 容	施 設	受講者数
5月	日総研 お茶の水学院	(法定) 感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する研修	清流の郷	65人
		(希望) チーム及び組織力向上研修	新緑の郷	39人
6月	日総研 お茶の水学院	(法定・希望) 看取り介護	清流の郷	130人
		(法定) 褥瘡対策に関する教育	新緑の郷	76人
		(階層) コーチングスキルアップ	新緑の郷	26人
7月	日総研 お茶の水学院	(法定) 高齢者虐待防止に関する研修	清流の郷	132人
		(希望) 高齢者の病気の特徴	新緑の郷	76人
8月	日総研 お茶の水学院	(法定) 事故発生の防止のための研修	清流の郷	65人
			新緑の郷	38人
9月	日総研 お茶の水学院	(階層) 報告・伝達・研修	清流の郷	4人
		(法定) 身体拘束等の適正化のための従業者に対する研修	新緑の郷	130人
		(法定) 褥瘡対策に関する継続的教育	新緑の郷	76人
10月	日総研 お茶の水学院	(希望) どんな環境でも活用できる介護技術研修	清流の郷	64人
			新緑の郷	38人
11月	日総研 お茶の水学院	(法定) 身体拘束等の適正化のための従業者に対する研修 ②	清流の郷	192人
		(法定) 高齢者虐待防止に関する研修 ②	新緑の郷	114人
		(希望) 記録研修		
12月	日総研 お茶の水学院	(法定) 感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する研修 ②	清流の郷	128人
		(法定) 看取り介護 ②	新緑の郷	76人
1月	日総研 お茶の水学院	(希望) 介護職のためのここは押さえておきたい接遇マナー研修	清流の郷	128人
		(法定・希望) 事故予防と緊急時対応	新緑の郷	76人
2月	日総研 お茶の水学院	(希望) 事故予防と緊急時対応 ②	清流の郷	128人
		(階層別) リスクマネジメント研修	新緑の郷	76人
年間合計				1,673人

### (3) 法定外部研修

職員のスキル及び職員の希望に沿って、外部の研修及び講習会に参加しました。外部研修についても 2022 年度は感染症対策のため集合研修は開催されることはなく、WEB での受講となりました。

月	研 修	主 催	清流 の郷	新緑 の郷	本部 総務
4	社会福祉主事研修	中央福祉学院	1		
5	静岡県社会福祉法人経営青年会 総会並びに研修会	静岡県社会福祉協議会			1
	デイサービスの生き残り経営戦略	(株) 船井総合研究所	2		
	三番町地区社会福祉推進協議会 令和 5 年度定期総会	三番町地区社会福祉推進協議会	1		
6	若手社員仕事力向上講座	静岡商工会議所ビジネススクール			1
	令和 5 年度 静岡県 JA 高齢者福祉事業研究会 第 1 回通所部会	静岡県厚生農業組合連合会	1		
	令和 5 年度 社会福祉法人 簿記入門講座	社会福祉法人静岡県社会福祉協議会			1
	次世代リーダー育成研修	静岡商工会議所ビジネススクール		1	
	デイサービス事業継続相談支援 (～2024 年 3 月)	全国老人福祉施設協議会	1		
	パーセルインデックス評価研修	全国老人福祉施設協議会		2	
7	パーセルインデックス評価研修	全国老人福祉施設協議会	2		
	業務に役立つ表計算ソフトの関数活用 (基礎編)	静岡職業能力開発促進センター			1
	令和 5 年度社会福祉法人・施設事務職員 経理基礎講座	静岡県社会福祉協議会			1
	病院ではない施設看護師の専門性と具体的な働き方	全国高齢者施設看護師会	2	1	
8	令和 5 年度 静岡県 JA 高齢者福祉事業研究会経営者・管理者合同部会	静岡県厚生農業組合連合会		1	
9	新入・若手社員フォローアップ研修	静岡職業能力開発促進センター			1
	IT ツールを活用した業務改善	静岡職業能力開発促進センター			1
	第 12 回静岡県高齢者福祉研究大会	静岡県老人福祉施設協議会		5	
	主任介護支援専門員更新研修	介護支援専門員協会		1	
	令和 5 年度社会福祉施設人事・労務管理研究会	静岡県社会福祉協議会			1
10	試験評価者向け 介護技能評価試験・専門級・上級追加講習	一般社団法人シルバーサービス振興会			1
	安全運転管理者法定講習	静岡県公安委員会	1	1	
11	後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割	静岡職業能力開発促進センター			1
	令和 5 年度 フォローアップセミナー	静岡県社会福祉協議会	4	5	
	令和 5 年度 社会福祉法人会計基準実践的決算講習	全国老人福祉施設協議会			1
	令和 5 年度 静岡県 JA 介護保険事業研修会「研究集会」	静岡県厚生農業協同組合連合会	1	4	2
	ファシリテーションを活用した合意形成の効率化	静岡職業能力開発促進センター			1
12	介護福祉士実習指導者講習会	ホットラインワールド(しかくの学校)	1	1	
	キャリア形成セミナー	静岡県経済産業部労働雇用政策課	1		
	静岡福祉大学 学内企業施設研究セミナー	静岡福祉大学		1	1
	令和 5 年度 社会福祉施設運営管理研修 BCP	静岡県社会福祉協議会	1	1	
	職場のメンタルヘルスと法～過保護と配慮の教会を考える～	一般社団法人 静岡県公認心理士会			1
	令和 5 年度 社会福祉法人会計基準実践的決算講習	全国老人福祉施設協議会			1

1	生活支援技術演習講師養成研修会	長寿社会開発センター	5	2	
	令和5年度 社会福祉ソーシャルワーク実習報告&意見交換会	静岡福祉大学	1	1	
	福祉用具研修会 ケアテックス名古屋	ブティックス(株)	10	5	3
3	静岡福祉大学 令和5年度介護福祉実習指導者懇談会	静岡福祉大学	1	1	
	福祉用具研修会	ウエルファン	6	2	
年間合計 (97人)			42人	35人	20人

#### (4) 受験結果

項目	介護福祉士	社会福祉士	介護支援専門員
	3人	0人	0人
合格者数	2人	0人	0人
合格率	66%	-	-

#### (5) 講習資格受講者・保有者

項目	社会福祉主事 通信教育課程	介護福祉士 実習指導者講習	社会福祉士 実習指導者講習	介護教員 講習	医療的ケア 教員講習	主任介護支援 専門員講習	防火管理者 講習
受験者数	1人	2人	0人	0人	0人	0人	0人
受講済者累計	17人	9人	7人	1人	2人	6人	7人

#### (6) 実習生受入人数及び実習延べ日数

項目	介護福祉士	社会福祉士	管理栄養士	体験実習	初任者研修	合計
実習者数	5人	5人	2人	0人	0人	12人
受入延日数	95日	70日	10日	0日	0日	175日

2023年度は、静岡女子高、静岡福祉大学の介護福祉実習、社会福祉士相談実習と静岡県立大学短期大学部の栄養実習を受け入れております。

### 8 寄付

静岡英和女学院中学校・高等学校 20,000円 (清流の郷利用者のために)

### 9 その他

#### (1) 災害支援

2024年1月1日発生した「令和6年能登半島地震」に対して、富山市に20万円(法人10万円・職員有志10万円)の義援金と、施設用備蓄アルファ米炊き出セット50食分24箱(1,200食)を提供しました。また、3名の介護職員を石川県長尾市へ派遣、各々1.5次・2次避難所において被災した高齢者の支援活動を行いました。

#### (2) 認証・宣言・登録

- (1) 男女共同参画社会づくり宣言事業所・団体
- (2) ふじのくに健康づくり推進シルバー認定事業所
- (3) 静岡県 家庭教育応援登録企業
- (4) 基準適合 認定 一般事業主(くるみん4つ星)

以上

# 苦情受付 一覽



## 2023 年度 苦情受付一覧

### 1) 法人本部…該当なし

### 2) 清流の郷…下欄のとおり

番号	受付日	申出人	種別	分類	苦情内容	結果	備考
1	2023.4.10	長男	通所介護	ケアの内容	入浴していないのに連絡帳には入浴したとの記載がある。 持参した薬を飲んでいない。	所長より長男に謝罪する。 入力ミス、服薬確認について、今後はダブルチェックを行うよう指導した。	
2	2023.4.20	孫	介護老人福祉施設	ケアの内容	受診の付き添いをしたが、本人のズボンが縫い目に沿って40センチほど破れていた。	相談員より孫に謝罪する。 確認すると、受診予定も伝わっていなかった。今後、衣類の確認と情報共有を徹底するよう指導した。	
3	2023.5.20	孫	介護老人福祉施設	職員の言動	ズボンの丈が長いから直してほしいと頼まれ持って行ったのに着ていない。 読み終えた本を次回の面会時に渡してくれるように頼んだのに返してもらえない。 本人に認知症があるが、職員と話をする、本人に寄り添ってもらえていないと感じる。	当日、フロアリーダー、施設長より孫に謝罪する。対応した職員の言動については、家族の心情を理解した上で発言するように指導した。衣類や本の件については、各部署で情報共有を徹底するよう指導した。	
4	2023.7.5	匿名	通所介護	その他	送迎で停車したリフト車が邪魔で一般車が通行できない、と匿名の苦情の電話が入る。	今後、駐車場所は一般車両の迷惑にならないように徹底する。デイサービス所長より職員全員に周知する。	

### 3) 新緑の郷…下欄のとおり

番号	受付日	申出人	種別	分類	苦情内容	結果	備考
1	2023.7.14	次女	通所介護	その他	靴下の取り違えがあった。 履いていたズボンの破れがひどくなっている。 帰宅後に手提げ鞆が車椅子に巻き込まれ外れない。	3点について謝罪。靴下については記名への協力を合わせて依頼、ズボンは事業所で修繕する。鞆については職員のモジュール型車椅子の操作不手際だったこともあり、謝罪と共に操作方法をご家族にも説明する。	
2	2023.9.8	長女	通所介護	その他	迎えの際、職員は玄関先で待つはずが自宅内まで上がってきた。家族送迎と連絡帳で伝えてあるのに迎えに来た。同じ間違えが過去にもあるので、再発がないようにしてほしい。	対象利用者の送迎時の注意点を一覧で作成、朝の申し送り時に内容を読み上げ、職員間で共有する対策を取った。申出人からは連絡不要と申し出あったが、所長より謝罪と対応策を伝える。	
3	2024.2.1	長男	介護老人福祉施設	ケアの内容 職員の言動	面会の際、本人から職員の実名を出して訴えがあった。事実であるなら問題ではないか。 ・職員に体をくすぐられ、「嫌だ」と言ったら、耳元で「死ね、死ね」と言われた。 ・排泄介助の際、お尻を拭いてくれなかった。	利用者、当該職員、フロア職員から聞き取りをする。行為は確認できなかった。各職員からは、本人からは不平不満の会話が多く、その内容に都度相違があり、実名を挙げられる職員も同一ではないことを確認。今後、本人の言動についての詳細な記録、家族を含めて情報共有、相談員が本人との面談時間を定期的に設けることとし、家族に報告する。	

### 4. さくらの郷…該当なし

(在宅介護支援センター)